

第232回 春風狂句

10月号の笠は

「たまがった」「あと一息」です。

お一人三句以内で9月10日(月)までに
受付にお出してください。お待ちしております。



選者 国府 良貝

恥ずかしが 酔いつぶれて 送られた

野中のしんちゃん

(評釈) 朝起きてひどか二日酔い。家内から 昨日のことは
何も覚えとらんど。珍しく酔っぱらうて会社の人の
送って「らしたつよ。」と聞いて また頭痛のしてきた。

何か妙なことはしとらんどかとちよつと心配。ただ奥さんの
機嫌は そがん悪なかけん 大丈夫だろ。

恥ずかしが 社会の窓が 開いとつた 杉野 裕志

(評釈) バスに乗ったら 同じくらい年の輩の男性が

申し訳なさそうに「こつそりと 社会の窓が開いてますよ。」と
教えてくれた。会釈で感謝の合図ば 送ったばってん いまどき
社会の窓でわかつとは 六十代以上だろね。よう考えてみつと
なかなか おつな 表現よね。

恥ずかしが 主婦になつたて 母親み 脇田 五典

(評釈) 東京にいる 主人の幼なじみが 一度 遊びに行きたいと
連絡のあつた。是非 奥さんの手料理で 一緒に酒を飲みたい
とのリクエスト。まだ料理は 苦手な私は 早速 母に連絡。

おか 任せといて」と二つ返事。ありがたかけどいつまででん
甘ゆつわけにはいかん。この際いろいろ 教えてもらわなん。

恥ずかしが 街頭でされる インタビュー 島 藤子

(評釈) 突然マイクば向けられて インタビューされた。何ば

聞かれて 何て答えたかも 覚えとらんど あがつつた。
早速 姉から 電話のかかつてきて テレビに あーたが

出とつたけん たまがった。たいしたもんたい 良かったよ。」と
言われて ホツとして やつとビデオば 見る気になつた。うーん
なかなかだつたと 自画自賛。

私だつて 負けちゃあおれん ダイエット

吉岡 広子

(評釈) 来月にせまつた 長男の結婚式。聞くところによつと
嫁のお母さんは たいが頑張つて 痩せらしたらしか。

負けとられんばいと一応思たばつてん 一ヶ月のダイエットじゃ
たかがしれとつど。開きなおつて 太目の肝っ玉母さんば
地で行こかね。」て言つたら 長男が そつが正解よ。」と
のたもうた。わかつとるばつてん 腹の立つ。

私だつて 昔しや小町で 通つたつ 松岡 茂美

(評釈) 確かに その面影は なかじやななばつてん 昔の写真
見たつちや そぎやん たいしたことは なかつたこたろ。

小町で言つても 競争相手のおらん 小さかとの 話だろ
なんて、思たつちや 言えまつせん。今一番 お世話になつとる
おばちゃん だもんね。

私だつて 味噌も納豆も 作れます 令志 タエ子

(評釈) 夫婦同伴の 同窓会。出席しつた 奥さんの

主人には 手作りの味噌・納豆ば 食べさせよります。」と
得意気に話よらした。主人も そらすこかですな。」と
相槌ば うちよつたばつてん 私もその気になれば ちゃんと
しきつただけんね。我ながら 対抗心ば 燃やすなにか
まだ 若つかね と苦笑い。

たくさんの投稿をありがとうございます。評釈は、
勝手にイメージで書かせていただいておりますので、
お気に召さない場合があるかもしれませぬ。
お許しください。

